

「つばめバリアフリーフェス 2022」を開催

－ イベントを通じて障がいや障がいのある人への理解を深めます －

毎年12月3日から12月9日までは「障がい者週間」です。この週に合わせて、障がいや障がいのある人に対する理解を深めるとともに、障がい者施設間の交流や新たな連携を育み活動の活性化へ繋げるため、「つばめバリアフリーフェス2022」を開催します。

つばめバリアフリーフェスでは、「障がい者施設の活動紹介や商品販売」を行うほか、12歳で視力を失うも、司法試験に合格し、町弁（町医者の弁護士）として様々な問題を抱える依頼者を支えている「大胡田誠」弁護士を講師に迎え、「こころのバリアフリー講演会」も行います。

【つばめバリアフリーフェス 2022 の概要】

■障がい者施設の活動紹介・商品販売

- 1.日 時：12月8日（木）～12月10日（土）午前10時～午後3時30分
- 2.場 所：燕市役所 1階 つばめホール
- 3.内 容：障がい者施設の活動紹介コーナーと商品販売コーナーを設置
※来場者アンケートにご協力いただいた人にプレゼントあり（各日で個数限定）。

■こころのバリアフリー講演会

- 1.日 時：12月10日（土）午後1時30分～午後3時（受付：午後1時から）
- 2.会 場：燕市役所 1階 会議室 101・102・103（手話通訳・要約筆記あり）
- 3.申し込み：燕市障がい者地域生活支援センターはばたき（☎0256-66-5688）
- 4.参加費：無料（定員50名）
- 5.演 題：「全盲の僕が弁護士になった理由」
- 6.講 師：大胡田 誠 氏（弁護士）

〈プロフィール〉

■大胡田 誠

1977年、静岡県生まれ。先天性緑内障により12歳で失明する。慶應義塾大学法学部法律学科卒業、同大大学院法務研究科修了。2006年 5回目のチャレンジで司法試験に合格。一般民事事件や企業法務、家事事件のほか、障がい者の人権問題にも精力的に取り組んでいる。つくし法律事務所を経て、2019年 おおごだ法律事務所を開業。2012年に出版された著書『全盲の僕が弁護士になった理由』（日経BP社）がメディアで取り上げられ、2014年 本作を原案にドラマ化。プライベートでは2児の父親。



本件についてのお問い合わせ先
健康福祉部 社会福祉課：岡田・西川
電話：0256-77-8172（直通）